

当社溶接材料製品へのQRコード®表示について

品質管理部 品質管理グループ 飯山 雄司

1 はじめに

先般、「溶接材料製品へのQRコード追加表示に伴うご案内」でもお知らせさせていただきました通り、溶接材料製品の識別管理強化を目的に、2021年11月より、当社溶接材料製品へのQRコード表示を順次進めています。

本稿では、QRコード概要およびQRコード表示の対応スケジュールについて紹介します。

2 QRコード概要

2-1 QRコードとは

QRコードは1994年に日本で開発されたマトリックス型二次元コードで、当初はサプライチェーンでの適用を目的に開発され、現在は日本のみならず世界で、チケット、広告および決済サービスなど、さまざまな用途で使用されています。

QRコードの特徴は、一次元コード（バーコード）と比べ、縦横に情報を持つことで格納できる情報量が増え、英数字だけでなく多言語を格納できるようになった点、また読み取り方向に制限がなく、正確に速く読み取りができる点があげられます。

2-2 当社溶接材料製品のQRコード情報について

当社溶接材料製品のQRコード情報配列について図1に示します。

QRコードの情報配列は、スタートから6桁をフリー情報として、その後の17桁（銘柄：10桁、サイズ：3桁、重量：4桁）をコア情報として設定しています。以降は製造番号などを含むフリー情報となります。

またQRコード内の情報は左詰めで設定され項目毎に桁数を満たない場合はブランクとなります。

| スタートから6桁 フリー情報 | コア情報 | | | 以降 製造番号等含むフリー情報 | 情報例 |
|-------------------|-----------|---------|--------|--------------------|----------------------------|
| | 銘柄(10桁) | サイズ(3桁) | 重量(4桁) | | |
| S F 1 | 1 2 2 5 0 | | | | 銘柄：SF-1、サイズ：1.2mm、重量：250kg |

図1 当社溶接材料製品のQRコード情報配列

3 QRコード表示対応スケジュール

当社溶接材料製品のQRコード表示対応スケジュールを図2に示します。

2021年11月より、品種、包装形態別に順次表示を開始し、2023年3月完了を目途に対応を進めています。

| 品種 | 包装形態 | 2021.11より順次表示開始 | 2022.4より順次表示開始 | 2022.10より順次表示開始 |
|-------------------------|----------------------------------|-----------------|----------------|-----------------|
| フラックスコアードワイヤ ソリッドワイヤ | ペールバックラベル/ コンテナラベル | → | → | → |
| | スプールラベル/カートン | → | → | → |
| サブマージ溶接用ワイヤ | ポピンラベル/コイルラベル/ カートン/ペールバックラベル | → | → | → |
| その他 | ラベル/カートン/紙箱、紙袋 | → | → | → |

図2 当社溶接材料製品のQRコード表示対応スケジュール

4 QRコード表示例

QRコード表示例を表1に示します。

QRコードは、品質ラベルおよび外装の一部に表示します。

表1 QRコード表示例

| ペールバックラベル | カートン(側面一カ所) |
|-----------|-------------|
| | |

5 おわりに

当社溶接材料製品のQRコード概要およびQRコード表示対応スケジュールについて紹介しました。当社での製品保管、出荷の識別管理に加え、お客様でのQRコード活用の一助になれば幸いです。

QRコードは株式会社デンソーウェブの登録商標です。